

全自動洗濯機／全自動乾燥機

Miele

設置・施工手順書

設置・施工手順 ビルトインは下のフローに示すステップに従って行ないます。順を追って必要な設備、加工作業を進めてください。



所要設備

(W3830WPS + T8432Cのみ)

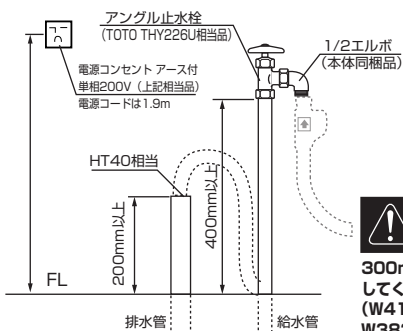
● 電源 : 単相200V 専用コンセント アース付

松下電工 WKS294 (露出型)

松下電工 WN1932 (埋込型) 相当品



※D種接地工事を必ず行ってください。



電磁弁付き給水ホースのため、最低300mmの空間を確保してください。
(W4144WPS / W3830WPSの場合)

★上記の設備例は代表的な方法です。現場に応じて給・排水管、コンセントの位置は変えてください。

漏電しゃ断器について

万一の漏電事故時の安全確保のために、漏電しゃ断器の設置が必要です。

※なお、主幹に漏電しゃ断器が設けられている場合には、新に漏電遮断器を設置する必要はありません。

推奨品

住宅分電盤用小型漏電ブレーカー品番: 203(松下電工)
定格電流20A・感度電流30mA(AC100-200V両用)
※既設分電盤の分岐安全ブレーカーHB型と同一サイズなので、そのまま取り替えることができます。

● 給水管 : 1/2"または3/4" FL200~300mm立ち上げ

● 排水管 : 耐熱塩ビ40φ (HT40相当) FL200mm以上立ち上げ

ミエーの洗濯機は全てポンプによる強制排水方式です。
排水管は必ず200mm以上立ち上げてください。

設置上の注意点

- ビルトイン機器の場合、キャビネット天板下部から床面まで最小820mm以上確保してください。
- 電源・給排水は手のとどく所に設備します。
- 機器を設置する床はコンクリートスラブに直か、もしくは根太により頑丈に補強してください。(本体の重量、および運転時の荷重対応)
- 設置床面は水平・平坦にし、後で本体を手前にひきだせるようにしておいてください。
- 凍結の恐れがある場所(室温0℃以下)には設置しないでください。
- この洗濯機／乾燥機は業務用には使用しないでください。
- この洗濯機／乾燥機は木造家屋の2F以上には設置しないでください。

同梱部材リスト (本体)

機種により梱包されている部材が異なります。ビルトイン施工前に部材の確認をしてください。

洗濯機: W4144WPS / W3830WPS / W1712					
ホースアダプター	ドアオープナー ※-1	フックスパナ	排水管臭気 どめパッキン	1/2" エルボ	取扱説明書 保証書

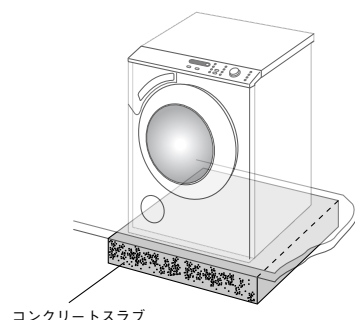
※-1. 本体の洗剤コンテナ内にセットされています。

T9246C / T8432C / T7644C				
ドアオープナー	ドレンホース ※	ホースバンド ※	ホースガイド	取扱説明書 保証書

※本体背面にセットされています。

重要 設置床の確認／床の補強

※必ず設置前に確認してください

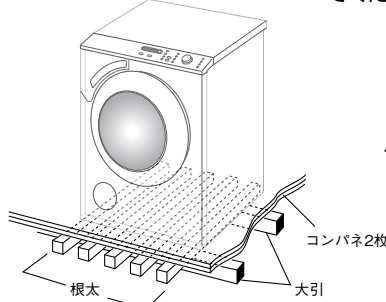


コンクリートスラブ

■木造床下を補強する場合

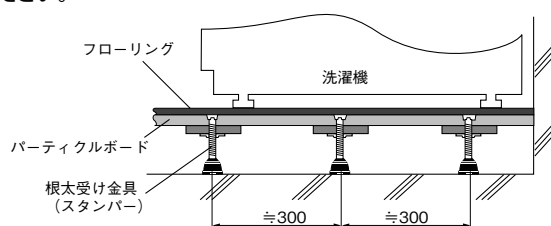
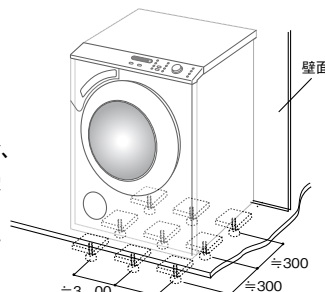
直接コンクリートで補強するのが困難な場合、右図のように根太5~6本+コンパネ2枚張で補強してください。この時、本体の脚真下に根太がくるようにしてください。

洗濯機を設置する床は、床下が直接コンクリートスラブに密着しているか確認してください。
ユニットフロアなど、床下に空間がある場合は、設置する部分をコンクリートによって補強してください。



■置床の場合

マンションなどの置床の場合、機械を設置する床下を、根太受け金具(フリースタンパー)9本で補強します。金具の取り付け位置は、概ね右図を参考にしてください。

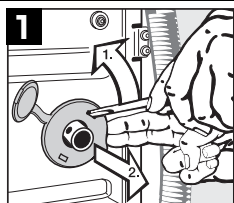


■参考 置床・根太受け金具 株式会社 工研技術 (03-3878-1566) WP型ロングタイプ相当品

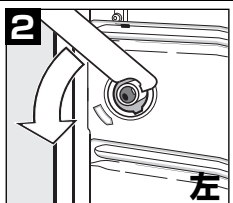


重要 輸送用固定部品の取り外し

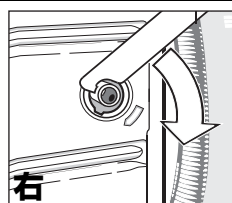
- 洗濯機は輸送・運搬のために洗浄ドラムを固定してあります。設置前に必ず、この輸送用固定部品を取り外してください。
- 輸送用固定部品なしで本体を運搬しないでください。



マイナスドライバーなどを使って、固定金具のカバーを手前に引き出し、取り外します。

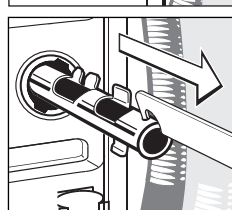
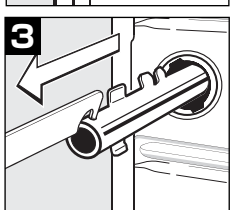


左

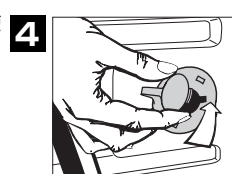


同梱のレンチを使って固定金具90°回してゆるめます。

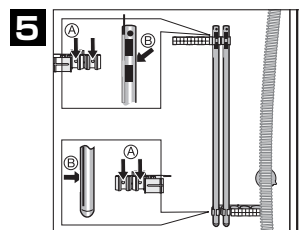
右:時計方向
左:反時計方向



レンチのカギ部分を使って金具を手前に引き出します。



目隠しカバーをはめこみます。取り外した固定金具は、背面の保管用フックに固定しておいて下さい。



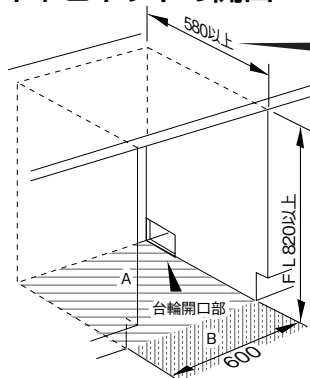
準備 所要設備／隣接キャビネットの加工 (ビルトイン兼用機種W3830WPS+T8432G)



この洗濯機・乾燥機は「消防法 告示第一号 (対象火気設備等及び火気器具等離隔距離に関する基準) に適合しております。建築物の可燃物等からの距離は表に掲げる値以上の距離を保ってください。☒

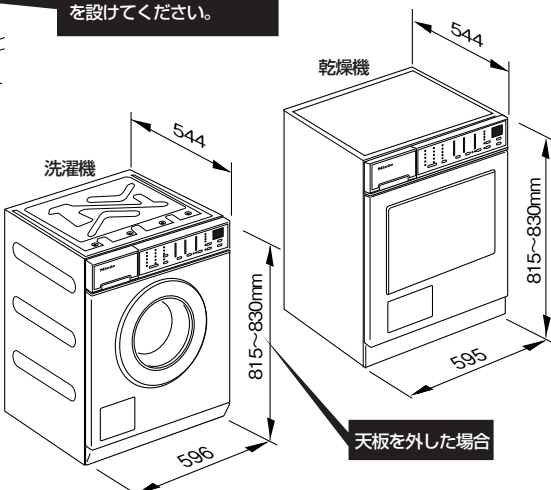
消防法 基準適合 組込型			
可燃物からの離隔距離 (mm)			
上方	側方	前方	後方
0	0	(開放)	10

■キャビネットの開口

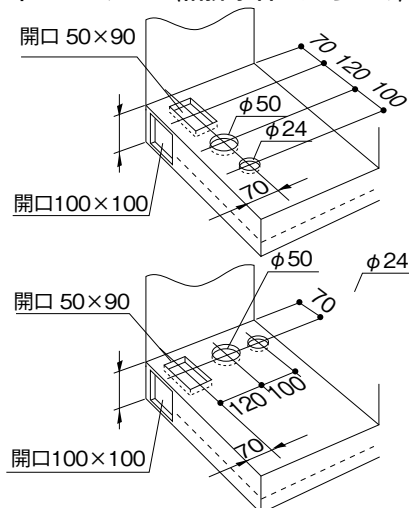


必ず580mm以上の奥行きを設けてください。

- キッチン天板下部から床面まで最大820mm以上確保してください。
- メンテナンスなどで機械を前に引き出せるよう設置床面Aと機械前床面Bは同レベルに仕上げてください。



■隣接キャビネットの加工 (給排水管の立ち上げ)

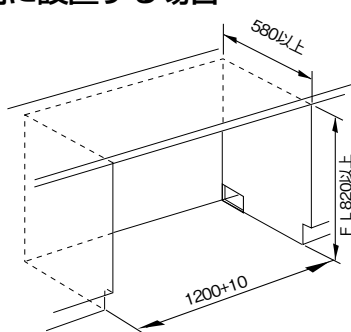


■洗濯機と乾燥機を並列に設置する場合

洗濯機を右側、乾燥機を左側に設置してください。

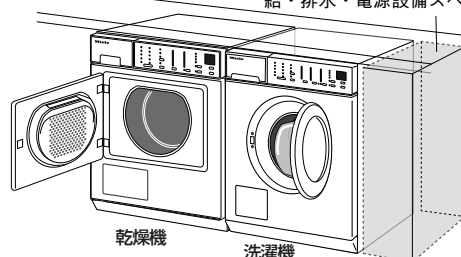
(洗濯機は右開き、乾燥機は左開きのため)

逆に設置しても機械的には差しつかえありませんが、洗濯機から乾燥機に洗濯物を入れ替えるときにドアが邪魔になり作業性がおちることが考えられます。



所要設備は必ず洗濯機右側に設けてください。乾燥機側に設けると、給排水ホースが届きません。

給・排水・電源設備スペース



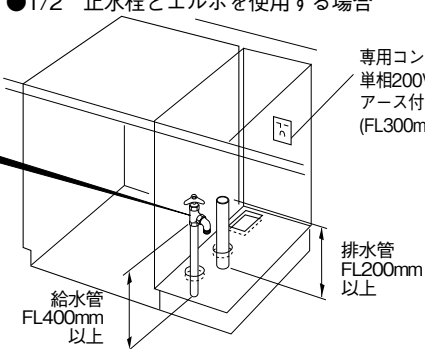
■給・排水管の立ち上げ

●1/2" 止水栓とエルボを使用する場合

ミーレの洗濯機はポンプによる強制排水方式です。排水管は必ず指定の高さに立ち上げてください。

1/2" アングル止水栓 (TOTO THY226U相当品)

1/2" エルボ (本体同梱品)



専用コンセント
単相200V 20A
アース付
(FL300mm)

排水管
FL200mm
以上

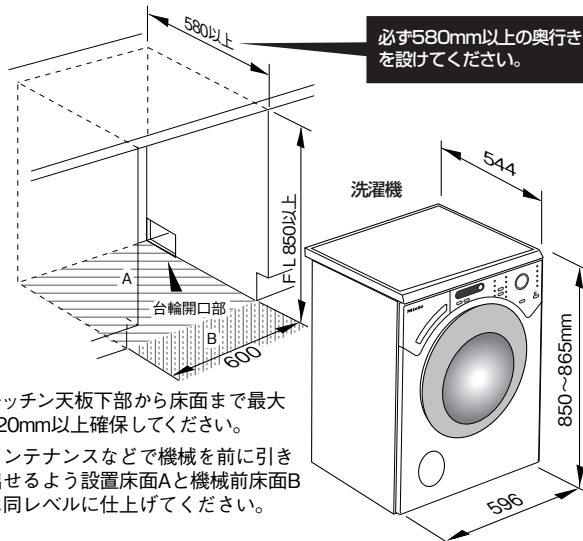
準備 所要設備／隣接キャビネットの加工 (セットイン兼用機種W1712+T7644C)



この洗濯機・乾燥機は「消防法 告示第一号（対象火気設備等及び火気器具等離隔距離に関する基準）に適合しております。建築物の可燃物等からの距離は表に掲げる値以上の距離を保ってください。☒

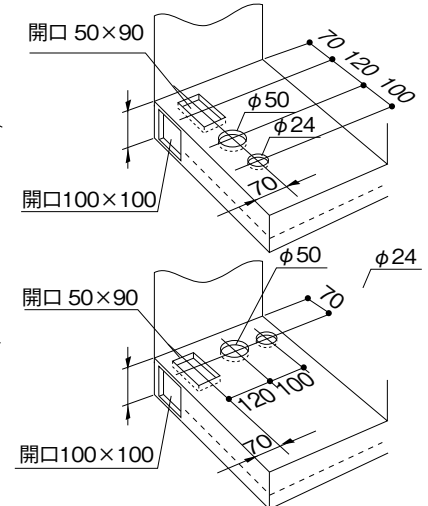
消防法 基準適合 組込型			
可燃物からの離隔距離 (mm)			
上方	側方	前方	後方
0	0	(開放)	10

■キャビネットの開口



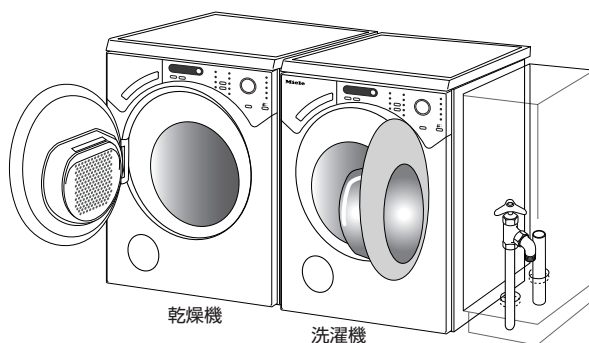
- キッチン天板下部から床面まで最大820mm以上確保してください。
- メンテナンスなどで機械を前に引き出せるよう設置床面Aと機械前床面Bは同レベルに仕上げてください。

■隣接キャビネットの加工 (給排水管の立ち上げ)

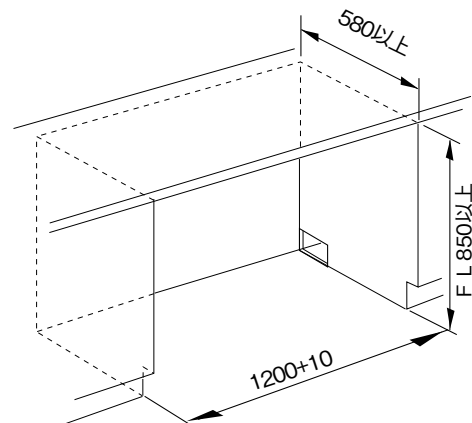


■洗濯機と乾燥機を並列に設置する場合

洗濯機を右側、乾燥機を左側に設置してください。
(洗濯機は右開き、乾燥機は左開きのため)
逆に設置しても機械的には差しつかえありませんが、洗濯機から乾燥機に洗濯物を入れ替えるときにドアが邪魔になり作業性がおちることが考えられます。



給・排水・電源設備スペース



所要設備は必ず洗濯機右側に設けてください。乾燥機側に設けますと、給排水ホースが届きません。

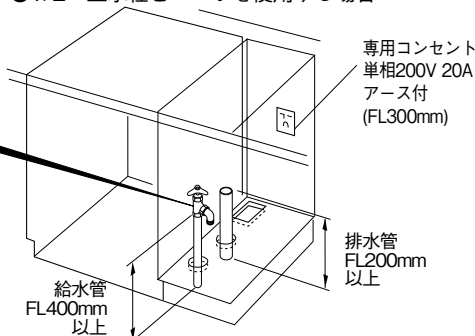
■給・排水管の立ち上げ

ミーレの洗濯機はポンプによる強制排水方式です。排水管は必ず指定の高さに立ち上げてください。

1/2" アングル止水栓 (TOTO THY226U相当品)



●1/2" 止水栓とエルボを使用する場合

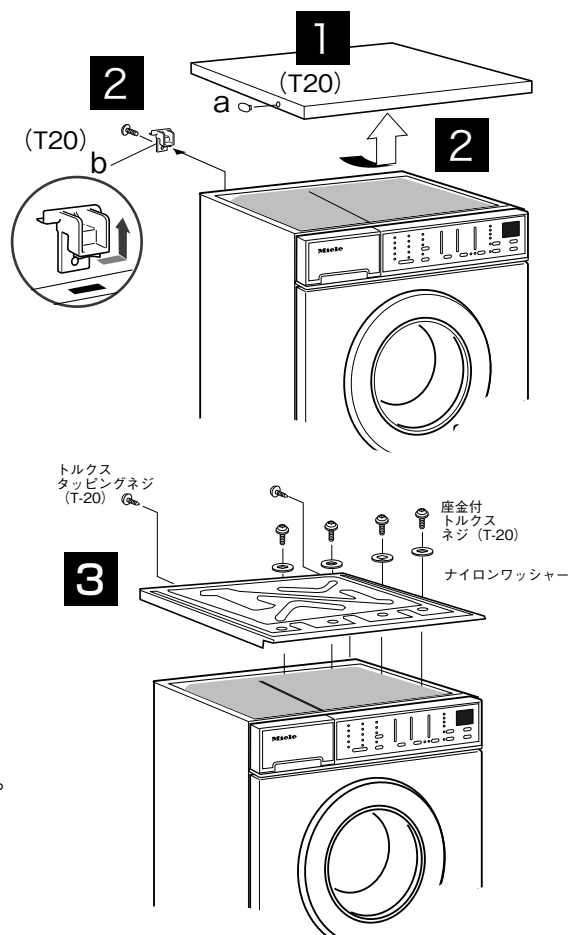


手順 1-1 天板保護材の取り付け (W3830WPS)

洗濯機W3830WPSをビルトインして使用する場合は、必ず機器の天板を取り外し、上面にカウンター保護材を取り付けてから実施してください。

ビルトインキット ：UBS-W/T-G 別売：12,600円 (税込)	カウンター保護材 	<table border="0"> <tr> <td></td> <td>座金付トルクスネジ (T-20)</td> <td>×4</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ナイロンワッシャー</td> <td>×4</td> </tr> <tr> <td></td> <td>トルクスタッピングネジ (T-20)</td> <td>×4</td> </tr> </table>		座金付トルクスネジ (T-20)	×4		ナイロンワッシャー	×4		トルクスタッピングネジ (T-20)	×4
	座金付トルクスネジ (T-20)	×4									
	ナイロンワッシャー	×4									
	トルクスタッピングネジ (T-20)	×4									

- 1 天板両サイドの目隠しキャップ(a)を外し、中にあるビスをトルクスレンチ(T20)を使用してゆるめ、押し込んで下さい。天板を上を持ち上げて取り外して下さい。
- 2 天板の後部を固定している白いホルダ(b)のねじを外し、横に(内側方向)スライドさせて取り外して下さい。
- 3 図のようにトルクスタッピングねじで背面2カ所、座金付トルクスネジとナイロンワッシャーで上面4カ所を固定して下さい。

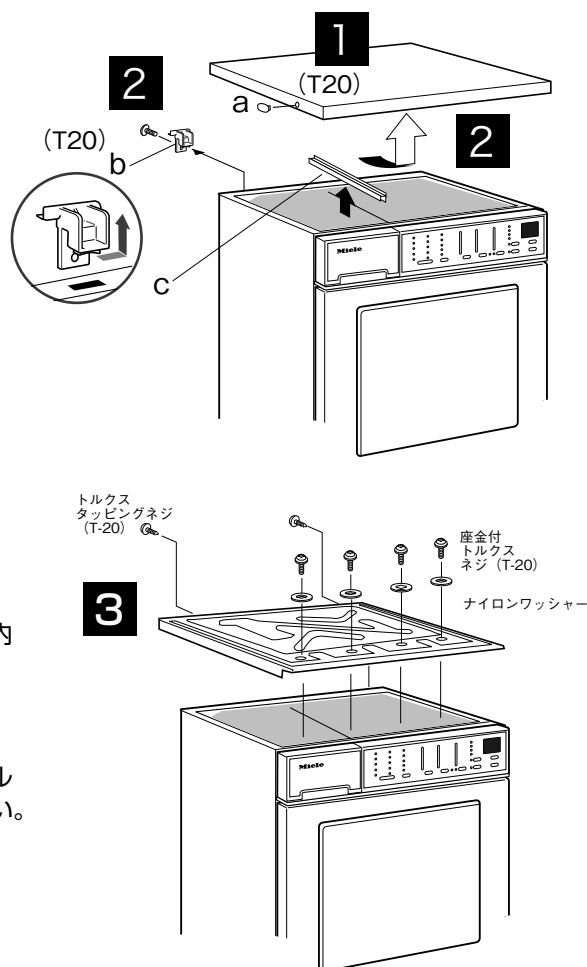


手順 1-2 天板保護材の取り付け (T8432C)

乾燥機T8432Cをビルトインで使用する場合は、必ず機器の天板を取り外し、上面にカウンター保護材を取り付けてから実施してください。

ビルトインキット ：UBS-W/T-G 別売：12,600円 (税込)	カウンター保護材 	<table border="0"> <tr> <td></td> <td>座金付トルクスネジ (T-20)</td> <td>×4</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ナイロンワッシャー</td> <td>×4</td> </tr> <tr> <td></td> <td>トルクスタッピングネジ (T-20)</td> <td>×4</td> </tr> </table>		座金付トルクスネジ (T-20)	×4		ナイロンワッシャー	×4		トルクスタッピングネジ (T-20)	×4
	座金付トルクスネジ (T-20)	×4									
	ナイロンワッシャー	×4									
	トルクスタッピングネジ (T-20)	×4									

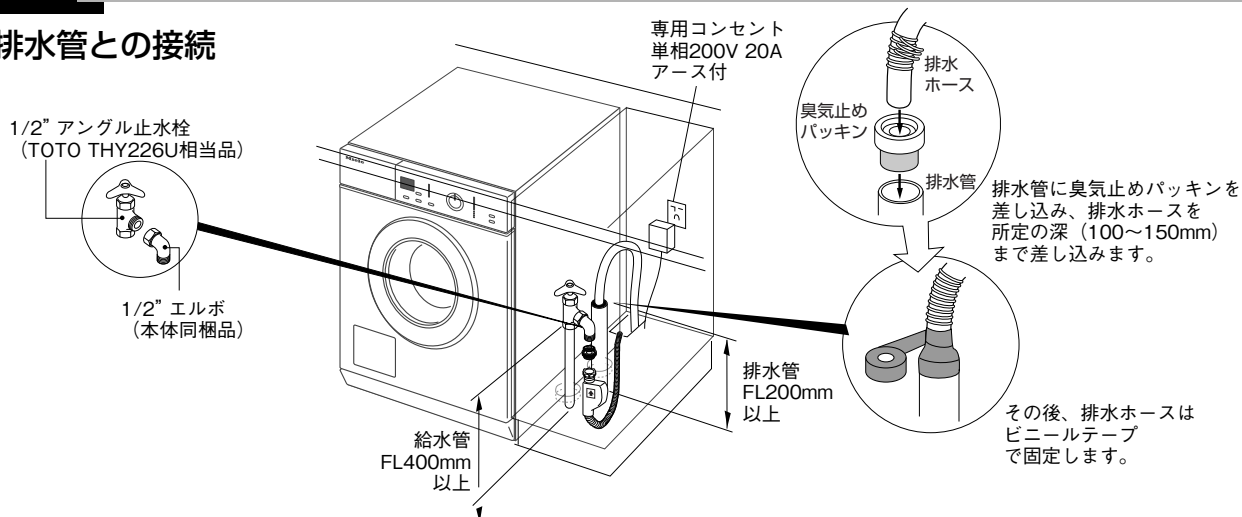
- 1 天板両サイドの目隠しキャップ(a)を外し、中にあるビスをトルクスレンチ(T20)を使用してゆるめ、押し込んで下さい。天板を上を持ち上げて取り外して下さい。
- 2 天板の後部を固定している白いホルダ(b)のねじを外し、横に(内側方向)スライドさせて取り外して下さい。同時にセパレータ(c)を外します。
- 3 図のようにトルクスタッピングねじで背面2カ所、座金付トルクスネジとナイロンワッシャーで上面4カ所を固定して下さい。



手順 2

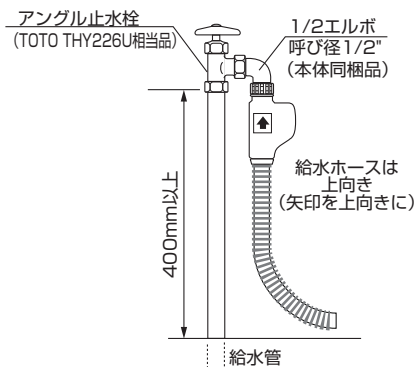
所要設備との接続／設置方法

■給・排水管との接続

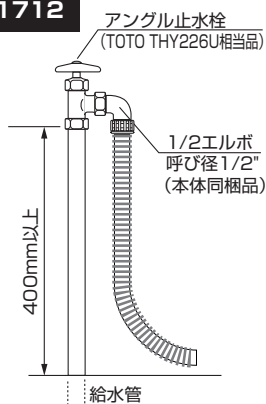


■給水ホースの接続 詳細図

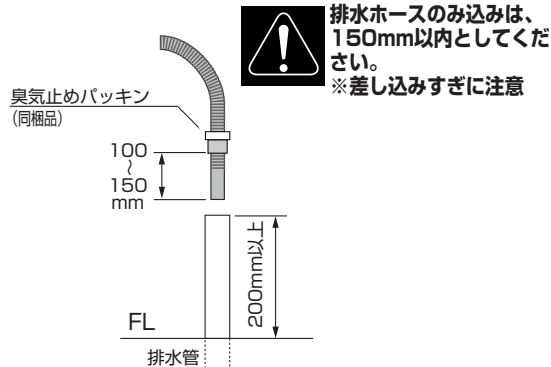
W3830WPS / W4144WPS



W1712



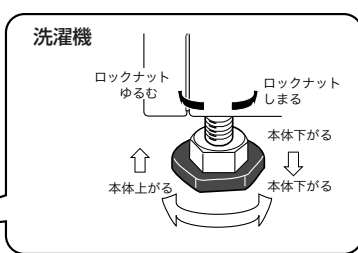
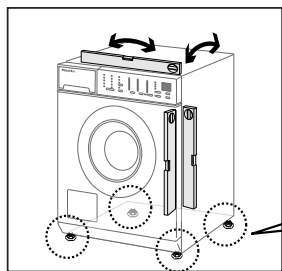
■排水ホースの接続 詳細図



手順 2

所要設備との接続／設置方法

■本体の水平だし



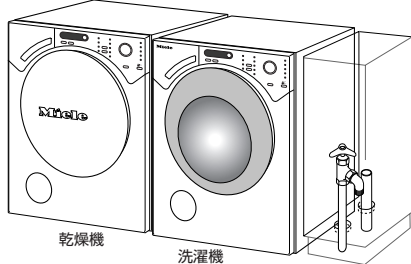
●洗濯機本体の水平がでていないと脱水時の振動や異音の原因になる場合があります。本体4箇所のアジャスタ脚で高さを調整し、水平器で水平確認してください。

●また調整後は必ずロックナットを締めておいてください。

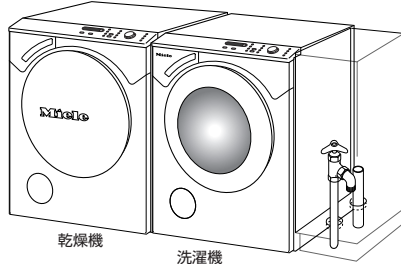
手順 2

並列設置方法 (本体の並べ方)

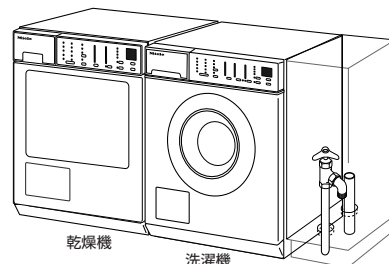
T7644C+W1712



T9246C+W4144WPS



T8432C+W3830WPS



洗濯機、乾燥機は、パネルデザインやスペックの相性上、上図のような組み合わせで設置して下さい。



所要設備は必ず洗濯機右側に設けてください。乾燥機側に設けますと、給排水ホースが届きません。

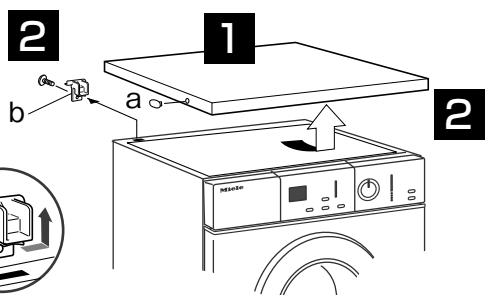
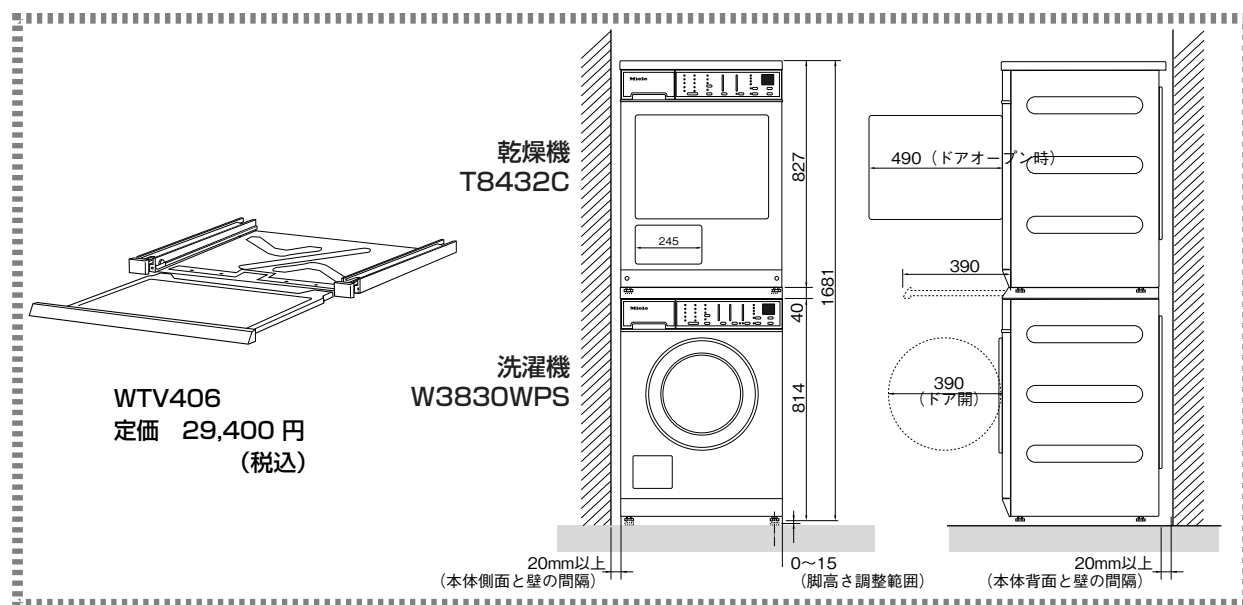
洗濯機を右側、乾燥機を左側に設置してください。

(洗濯機は右開き、乾燥機は左開きのため)

逆に設置しても機械的には差しつかえありませんが、洗濯機から乾燥機に洗濯物を入れ替えるときにドアが邪魔になり作業性がおちることが考えられます。

A

スタックキットWTV406(W3830WPS+T8432C)



1 天板両サイドの目隠しキャップ(a)を外し中にあるビスをゆるめ、押し込んで下さい。天板を上を持ち上げて取り外して下さい。

2 天板の後部を固定している白いホルダ(b)のねじを外し、横に(内側方向)スライドさせて取り外して下さい。
このネジは、次にスタックキットを取り付ける際に使用しますのでご注意ください。

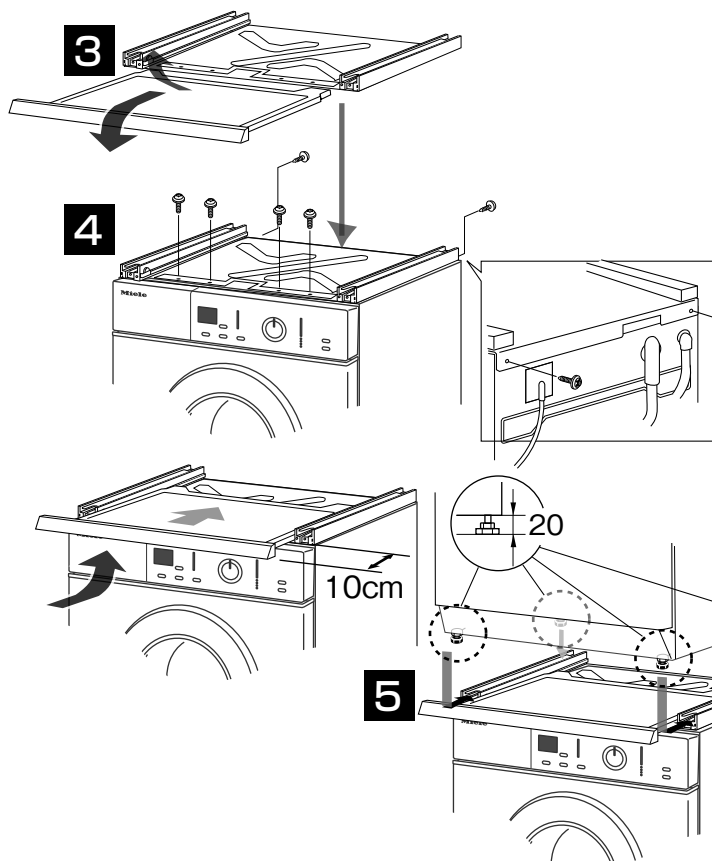
3 引き出しテーブルを抜き取ります。

4 図のようにトルクスタッキングねじで背面2カ所、「2」で取り外した座金付トルクスネジで上面4カ所を固定して下さい。
その後、引き出しテーブルを元のように差し込み、手前に10cm程度引き出して置いて下さい。

注意 乾燥機本体を載せてからでは、引き出しテーブルを差し込むことができません。ご注意ください。

5 乾燥機の脚を全て20mmにセットし、図のように乾燥機の脚を(後ろの脚から)ミゾに入れ、本体を奥まで押し込みます。
このとき乾燥機の六角形の脚は、スタックキットの脚差し込み部分の前面と合わせて置いて下さい。
(乾燥機の脚の角が前面より出ていると、次に固定プレートを差し込むことができません。)

注意 乾燥機本体は引き出しテーブルの上には絶対に載せないで下さい。テーブル破損の原因になります。



6 7 固定プレートを入れ、化粧カバーを取り付けて完成です。



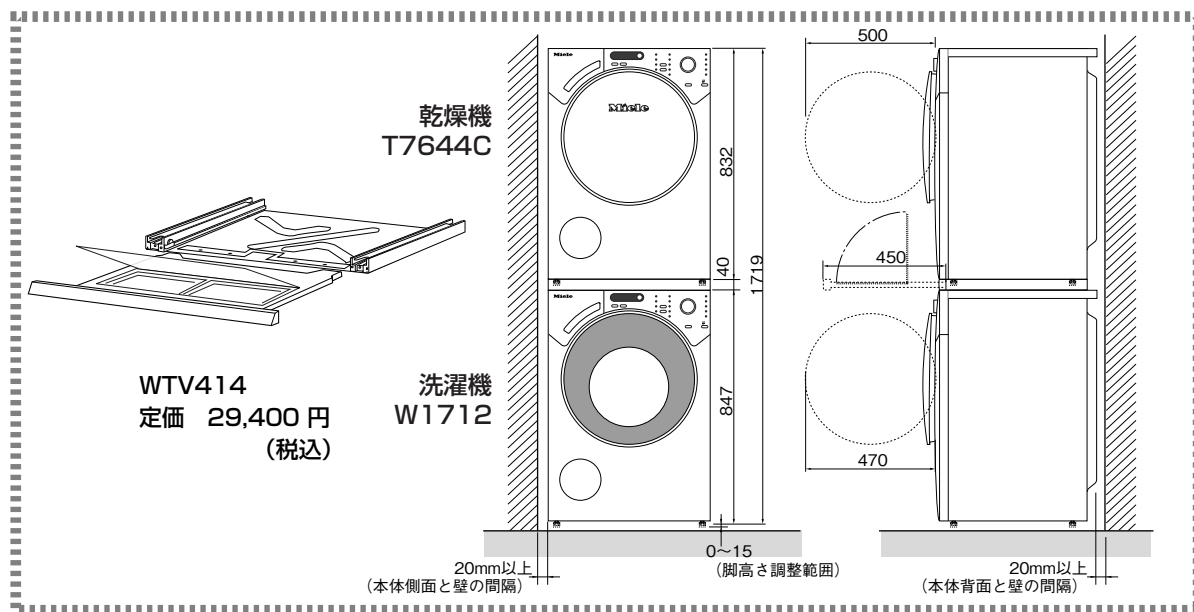
2段積み不可な乾燥機



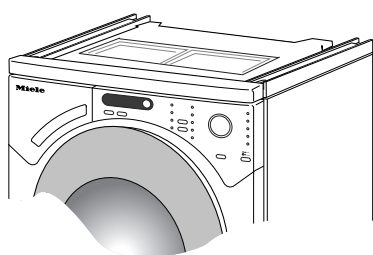
乾燥機T9246Cは、水平な操作パネルなので、二段積み設置には適しません。機種選定には十分ご注意下さい。

B

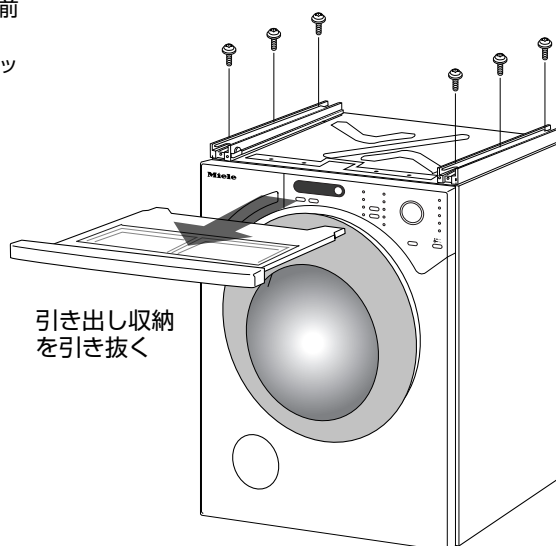
スタックキットWTV414(W1712+T7644C)



- 洗濯機の操作パネル前面とスタックキット(WTV414)の引き出し前面を合わせて置きます。
収納付引き出しを引き抜き、スタックキットを直接、天板6本のタッピングネジで取り付けます。



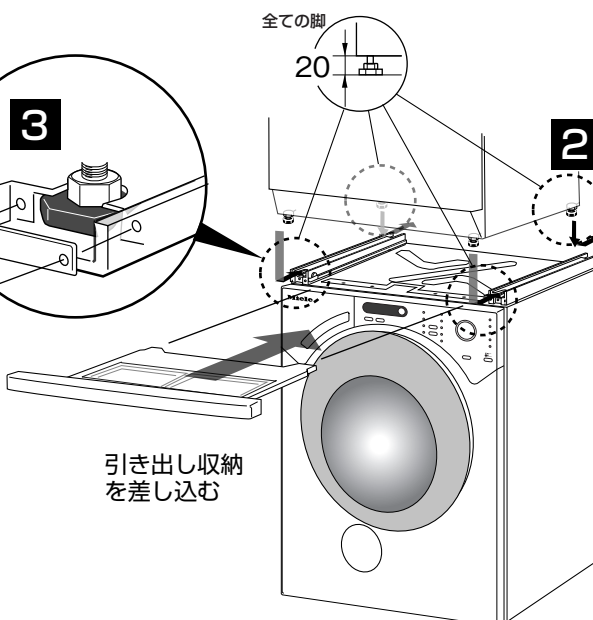
スタックキットを「前面合わせ」でセット



引き出し収納
を引き抜く

- 乾燥機の脚を全て20mmにセットし、図のように乾燥機の脚を(後ろの脚から)ミゾに入れ、本体を奥まで押し込みます。
このとき乾燥機の六角形の脚は、スタックキットの脚差し込み部分の前面と合わせておいて下さい。

脚固定プレート



- 脚固定プレートを取付、前面化粧カバーをはめ込んで完成です。

引き出し収納
を差し込む

コンデンサタイプ乾燥機 T9246C、T8432C、T7644Cは、排水を排水コンテナに貯めずにドレンホースによって直接排水管に排水することができます。



付け根が折れ
曲がりすぎない
ように注意

※ 排水ホース長さ
フックから=1.4m

ドレンホースホルダ

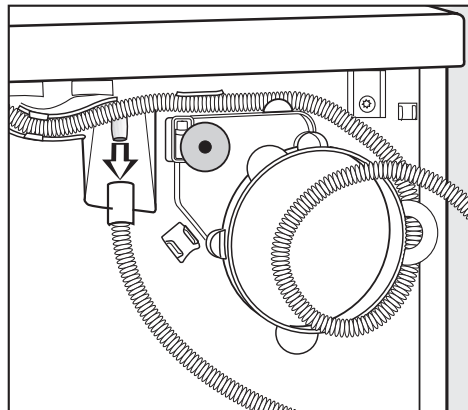
支持部

乾燥機

洗濯機

1

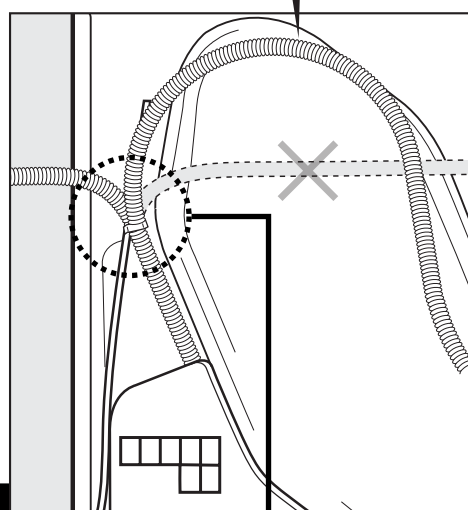
ドレンホースは図の位置のドレンホースホルダーに巻き付けて固定されています。
かるく引っ張って支持部からホースを取り外します。
※ホースに残っている水がある場合、それを容器に取り出してください。



2

排水管に接続するのに必要な長さだけドレンホースを引き出します。(ホース全延長は1.5mです)
必要に応じて右または左に取り付けます。

ゆるやかなカーブで



注意

水漏れの原因になることがありますので、ホース付け根が折れ曲がりすぎないように注意してください。

3

洗濯機の排水ホースと一緒に、排水管に接続します。
水漏れに注意し、接続はビニルテープ等を使って確実に行って下さい。

Miele

施工手順、設置上不明な点や問題点、設置する機器に不具合を発見されたときは
お手数ですが弊社までお問い合わせください。